

総 会 報 告

去る6月10日(水)、北海道大学学術交流会館に於いて、昭和62年度の支部総会が開かれた(出席49名、委任状71名)。議長には北大理学部の播磨屋敏生教授が選出された。

総 会 次 第

1. 開 会
2. 議 長 選 出
3. 議 長 挨 拶
4. 支 部 長 挨 拶
5. 議 題
 - (1) 昭和61年度事業報告
 - (2) 昭和61年度会計報告
 - (3) 昭和61年度会計監査報告
 - (4) 昭和62年度事業計画
 - (5) 昭和62年予算案
 - (6) 支部規約の改正について
6. そ の 他
7. 閉 会



議長：播磨屋敏生氏

支部長から、役員の転出・死去に伴って、新役員を補充したこと等を含んだ挨拶があった。

議題のうち、(1)・(2)は遠藤理事、(3)は菊地理事、(4)・(5)は花房理事より説明があり、それぞれ承認された。(6)の支部規約の改正については伝法理事より説明があり、賛成多数で原案どおり可決された。主な改正点は、常任理事を1名増員して4名にすること、および会計監査を理事以外に新たに設けることである。また、選挙事務の日程が窮屈なので告示作業のスケジュールに余裕をもたせた。これらの改正点を含んだ新しい支部規約および支部役員選挙規則を、表紙見返しに掲載してあるので参照して下さい。続いて松村理事より、「支部だより」の新しい名称を6月15日まで再募集する旨報告された。

(谷口 恭)



遠 藤 理 事



花 房 理 事



伝 法 理 事



松 村 理 事

(1) 昭和61年度支部事業報告

1. 第15期支部役員選挙

(昭和61年4月14日告示、5月30日投票締切、6月2日開票)

当選(敬称略50音順)

大川 隆(札幌気) 菊地 勝弘(北大理)
小島 修(札幌気) 小林 禎作(北大低温研)
多田 利義(函海気) 伝法 宏(気象協会)
吉田 泰治(札幌気)

2. 第1回支部理事会(61.6.6 於札幌気)

支部長・常任理事の選出、幹事の指名、業務分担、昭和60年度事業及び会計報告、昭和61年度事業計画及び予算案審議

3. 昭和61年度支部総会(61.6.9 於北大理)

昭和60年度事業及び会計報告、昭和61年度事業計画及び予算案審議

4. 昭和61年度第1回支部研究発表会(同上)

発表 9題 参加者 50名

5. 特別講演(61.6.19 於北大理・低温研)

テーマ (1) ハワイにおける温かい雲からの降雨機構
(2) アメリカにおける雲の航空機観測の現状
(3) 雷雲内の電荷発生および蓄積に関する最近の研究

講師 ハワイ大学教授 高橋 勲^{つとむ}

6. 支部だより第32号発行(61.7.20)90頁

7. 第4回夏季大学「新しい気象」講座：冬の気象Ⅰ(61.7.31～8.1 於札幌市青少年科学館)

講師とテーマ

(1) 小林 禎作(北大低温研) 雪はなぜ六角か

- (2) 木村 隆昭(札幌管区气象台) 「ひまわり」から見た北海道の冬の天気
 - (3) 秋田谷英次(北大低温研) 北海道の冬と生活
 - (4) 成瀬 廉二(北大低温研) 氷河のふるまいー温暖地域から極地までー
- 映画 「雪の結晶」

科学館気象関係施設の見学

8. 第2回支部理事会(61.9.16 於札幌気)

地方講演会(千歳)実行計画及び予算案審議

支部創立30周年記念事業計画審議

昭和62年度秋季大会開催準備

9. 第1回日本気象学会昭和62年度秋季大会準備委員会(同上)

実行委員、組織指揮系統、会場予算案、準備スケジュール等の審議、決定

10. 地方講演会「千歳付近の天気と航空気象」(61.10.18 於千歳市民文化センター)

講師とテーマ

- (1) 上田 博(北大理) 空港周辺の特異な気象優乱ーダウンバーストの検出の可能性ー
- (2) 木村 隆昭(札幌気) 「ひまわり」から何が分かるかー石狩湾小低気圧や乱気流ー
- (3) 遠藤 辰雄(北大低温研) 降雪のしくみとその観測
- (4) 東 学(千歳航空測候所) 千歳の雪について
- (5) 菊地 勝弘(北大理) 北海道太平洋岸の海霧の性質

参加者 約150名

11. 昭和61年度第2回支部研究発表会(61.11.14 於札幌気)

発表 10題 参加者 70名

12. 第2回日本気象学会昭和62年度秋季大会準備委員会(61.12.3 於札幌気)

名古屋大会の報告、予算案審議、シンポジウム計画審議

13. 特別講演(62.1.13 於北大理)

テーマ 中国における大気物理研究の現状

講師 中国科学院蘭州高原大気物理研究所長 かく 郭 せいめい 昌明

14. 特別講演(62.2.6 於北大理)

テーマ Researches and Facilities at the National Severe Storms Laboratory

講師 Dr. R. J. Doviak

15. 第3回支部理事会(62.3.9 於札幌気)

昭和61年度事業報告、会計報告、監査報告

支部組織・運営に関する審議

(2) 昭和61年度会計決算報告(昭和62年3月31日現在)

収 入

項 目	金 額 (円)	備 考
前 年 度 繰 越 金	5 0,5 1 1	
本 部 交 付 金	3 2 2,3 0 0	(2 3 8人×8 5 0円) + 1 2万円
夏 季 大 学 交 付 金	5 0,0 0 0	
入 会 金	8,5 0 0	1 7人×5 0 0円
預 金 利 子	3 7 6	
合 計	4 3 1,6 8 7	

支 出

項 目	金 額 (円)	備 考
理 事 会 秋季大会準備委員会	6,6 0 0	4 回
研 究 発 表 会、総 会	2,8 6 0	
事 務 費	1,8 5 0	
通 信 費	3 3,3 8 0	
交 通 費	1 7,7 3 0	
支 部 だ よ り 印 刷 費	1 9 0,0 0 0	3 2 号
夏 季 大 学	5 7,0 5 0	
地 方 講 演 会	7 2,4 2 0	千歳市に於いて開催
選 挙 関 係 印 刷 費	2 7,3 9 0	第 1 5 期
次 年 度 繰 越 金	2 2,4 0 7	
合 計	4 3 1,6 8 7	

(3) 昭和61年度の決算は、上記の通り相違ないことを証明します。

昭和62年3月31日

担当理事(代理) 菊地 勝弘

㊟

(4) 昭和62年度支部事業計画(案)

1. 第3回昭和62年度秋季大会準備委員会(62.4.24 於札幌)

2. 昭和62年度第1回支部研究発表会（62.6.10 於北大学術交流会館）
3. 昭和62年度支部総会（同 上）
4. 支部創立30周年記念行事（同 上）
 - (1) 記念式典
 - (2) 記念講演

菊地 勝弘（北大理学部教授）

大川 隆（室蘭地方気象台長）
 - (3) 祝賀会
5. 第5回夏季大学「新しい気象」講座：冬の気象Ⅱ（62.7.29～30 於札幌市青少年科学館）

講 師 遠藤 辰雄（北大低温研） 播磨屋敏生（北大理）

小野 延雄（北大低温研） 若原 勝二（札幌管気）
6. 支部だより第33号、創立30周年記念号（62.7. 発行予定）
7. 日本気象学会昭和62年度秋季大会（62.10.14～16 北大学術交流会館）
 - (1) 第1回実行委員会（62.7）
 - (2) 第2回実行委員会（62.9.上旬）
8. 昭和62年度第2回支部研究発表会（62.11 於札幌管気）
9. 理 事 会

第1回 （62.4.24 於札幌管気）

第2回 （62.9.上旬）

第3回 （63.3.中旬）

(5) 昭和62年度予算（案）

収 入

項 目	金 額 (円)	備 考
前 年 度 繰 越 金	22,407	
本 部 交 付 金	318,050	(233人×850円)+12万円
夏 季 大 学 交 付 金	50,000	
入 会 金	6,000	12人×500円
預 金 利 子	200	
合 計	396,657	

支 出

項 目	金 額 (円)	備 考
理 事 会 秋季大会準備委員会	8,500	4～5回
研究発表会、総会	3,000	
事 務 費	2,500	
通 信 費	25,000	
交 通 費	7,000	
支 部 だ よ り	210,000	33号(特別号)
夏 季 大 学 印 刷 費	57,000	札幌市青少年科学館と共催
30周年記念行事費	20,000	
秋 季 大 会 補 助	60,000	
次 年 度 繰 越 金	3,657	
合 計	396,657	

(6) 規 約 改 正 点

○ 支 部 規 約

第 八 条 本支部に次の役員をおく。

理 事 7名(内支部長1名、常任理事4名)

会計監査 1名

幹 事 4名

第 九 条 理事および会計監査は支部会員の互選によって定める。

第十三条 理事および幹事は本支部の会務を行なう。会計監査は本支部の会計を監査する。

第十四条 役員の任期は2年とする。但し重任は妨げない。理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行なう。

○ 支 部 役 員 選 挙 規 則

第 一 条 理事および会計監査の選挙の投票日は理事会で決定する。

第 二 条 支部長は投票締切日の15日前までに投票用紙および支部会員名簿を会員に配布し周知を図るものとする。

第 三 条 投票は無記名、文書投票とし、理事は定数内の連記とし、会計監査は単記とする。

第 四 条 有効投票により得票の多い順に当選とする。得票数が同じものが2名以上出た場合は年長順とする。

第 五 条 理事および会計監査に欠員を生じた場合は、理事会の推薦によって補充する。

(新規約は表紙見返しに掲載してあります。)

旧 規 約 (参 考)

- 第 一 条 本支部は社団法人日本気象学会北海道支部という。
- 第 二 条 本支部は事務局を札幌市中央区北 2 条西 1 8 丁目札幌管区気象台内におく
- 第 三 条 本支部は北海道に在住するすべての日本気象学会会員によって構成される。
- 第 四 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行なうが、特に支部会員の研究の奨励推進、ならびに相互の連絡につとめることを目的とする
- 第 五 条 本支部は前条の目的を達成するために講演会ならびに学術的会合の開催その他本支部の目的にかなうと思われる事業を行なう。
- 第 六 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり翌年 3 月 3 1 日に終る。
- 第 七 条 本規約の実行に必要な細則は支部理事会の決議によって別に定める。支部理事会は支部の理事および当支部に籍をおく全国理事によって構成される。
- 第 八 条 本支部に次の役員をおく。
 理事 7 名 (内支部長 1 名、常任理事 3 名)
 幹事 4 名
- 第 九 条 理事は支部会員の互選によって定める。
- 第 十 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第十一条 幹事は支部長の指名による。
- 第十二条 支部長は本支部を代表して会務を総理する。支部長に事故ある時は、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第十三条 理事および幹事は本支部の会務を行なう。
- 第十四条 役員の任期は 2 年とする。但し重任は妨げない。理事は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行なう。
- 第十五条 総会の開催、議決等は日本気象学会定款に準じて行なう。

北 海 道 支 部 役 員 選 挙 規 則

- 第 一 条 理事選挙の投票日は理事会で決定する。
- 第 二 条 支部長は投票締切日の 2 0 日前までに投票用紙および支部会員名簿を会員に配布し周知を図るものとする。
- 第 三 条 投票は無記名、文書投票とし理事定数内の連記とする。
- 第 四 条 有効投票により得票の多い順に理事を決定する。得票数が同じものが 2 名以上出た場合は年長順とする。
- 第 五 条 理事に欠員を生じた場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 第 六 条 開票は常任理事立会のもとに行なう。
- 第 七 条 開票の結果は理事会に報告し、「支部だより」または「天気」に掲載する。